

チャレンジ・サザンセット！活力みなぎる農林水産業の創造

柳井農林水産事務所だより

発行：山口県柳井農林水産事務所
〒742-0031
柳井市南町三丁目9-3
TEL 0820-25-3290(代表)
FAX 0820-25-3297

「柳井農林水産事務所」になりました！

平成30年4月から、柳井・大島地域の農林水産業の成長産業化に向けた総合的な振興を図るため、農林事務所と水産事務所を統合し、「柳井農林水産事務所」としてスタートしました。

このたび、農林水産事務所として第1号となる「事務所だより」を発行しました。

〈柳井農林水産事務所の組織体制〉

部課室名 (問い合わせ先)	主な業務内容
総務課 ☎0820-25-3290	工事事務、用地調整等
企画振興室 ☎0820-25-3291	関係機関との総合調整、地産・地消の推進、6次産業化・農商工連携の推進、鳥獣被害防止対策等
農業部 ☎0820-25-3292	産地振興・担い手育成に向けた普及指導活動、先進的高度技術の普及定着、農村女性企業家等の推進等
農村整備部 ☎0820-25-3294	県営による農業生産基盤及び生活基盤整備の施行、多面的機能支払・中山間地域等直接支払の推進等
大島分室 ☎0820-72-1051	周防大島町における農業農村整備事業の総合調整等
畜産部 ☎0820-22-2416	肉用牛の増頭対策、山口型放牧の推進、飼料自給率の向上対策、家畜防疫対策等
森林部 ☎0827-29-1567	健全で多様な森林整備の推進、県産木材の利用促進、特用林産物の振興、保安林・自然公園の管理、林地開発の許認可等
水産部 ☎0820-22-0740	栽培漁業の推進、内水面漁業及び漁場環境の保全、水産技術の普及指導、漁業後継者の育成指導、漁業の調整取締等

※ 管轄区域：柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町（1市4町）



やまぐちブランド「ゆめほっぺ」をPRしました

柳井・大島地域「地産・地消」推進会議では、やまぐちブランド「ゆめほっぺ」の魅力を広く発信するため、県内外でPRイベントを行いました。

首都圏での取組として、3月17日(土)に、東京都の大田市場で、東京青果株式会社の仲卸等を対象に「ゆめほっぺ」お披露目会を行いました。セリ前の試食会では、全国の果物を扱う仲卸に、「とても美味しい」との高い評価をいただきました。その後、セリ直前の挨拶では、山口大島農協の吉村組合長から「山口県オリジナル品種で高糖度に仕上がる『せとみ』を、さらに高糖度で選別しております。まだ生産量は少ないですが、可愛がってください。」と、続いて、周防大島町の椎木町長から「周防大島町の誇る柑きつ『ゆめほっぺ』をよろしく願います。」と紹介がありました。この取組は3年目となり、年々首都圏での認知度も高まってきています。

県内での取組として、3月21日(水)に、レノファ山口のホームゲーム会場で周防大島町のホ

ームタウンブースを活用したPR活動を行いました。当日は悪天候でしたが、来場したサポーターに試食を実施しました。試食は好評で、販売用に準備した果実は、試合開始前には売り切れました。次年度以降も、一人でも多くの方にやまぐちブランド「ゆめほっぺ」を食べていただき、その魅力を知ってもらえるよう、取組を進めていきます。



「ゆめほっぺ」お披露目会



レノファ山口ゲーム会場でのPR

JA出資型法人周防大島ファーム株が設立されました

平成29年10月2日(月)、JA出資型法人「周防大島ファーム(株)」が設立されました。

周防大島ファーム(株)はJA山口大島と地元農業者が共同出資して設立され、将来的に20haの栽培面積、400tの販売数量、1億円の販売額を見込んでいます。

周防大島町内の柑きつは傾斜地に多く植栽され、狭小な園地が多く、作業の機械化や大規模化が困難なうえ、高齢化により栽培農家が減少しています。

このため法人は、優良園地を継承して管理するとともに、研修の場としても活用し、新規就農希望者の実技指導を行うことにより、後継者育成の一翼を担っていきます。

周防大島ファーム(株)の設立で新規就農者の受入体制が整備され、担い手が増加するとともに、柑きつ生産量が維持され、産地の活性化に繋がることが期待されます。



周防大島ファーム(株)設立記念式



周防大島ファーム(株)管理園地

「明るい農山漁村づくり」を開催しました

3月2日(金)、アクティブやないで、「明るい農山漁村づくりのつどい」が開催され、柳井地域農山漁村女性連携会議会員等、約150名が参加しました。

このつどいは、地域の重要な担い手である女性自らが、自信と誇りを持って多様な活動に参画するために策定した「第3次柳井地域の農山漁村女性に関する中期ビジョン」の実現に向け、毎年開催しています。

今年度は「支え合い、つながり、ひろがる、地域の絆」をテーマに、新規就農者や農協女性部、女性漁業経営者が活動発表を行い、講演では、山口市の女性指導農業士が地域の若い子育て世代の女性たちと関わりを持ちながら、農業の担い手として育成している事例が紹介されました。

参加者からは「人のつながりや支え合い、地域の絆が大切」、「私でよければがんばります」を合言葉に、出しやばりおぼちゃんになりましょう」等の感想がありました。



3月9日(金)に、これまで柳井地区と周防大島地区で別々に活動していた農業士会が発展的に解散し、新たに「柳井大島地区農業士会」が設立されました。

柳井地区と周防大島地区の農業士会が合併し「柳井大島地区農業士会」が設立されました



講演会の様子

農業士会は、農業士の活動助長並びに資質の向上、相互の親睦連携を図り、農村青年の育成指導、及び地域農業の振興に資することを目的に活動を行っています。今回の合併により、会員の交流を広域化すると共に活発化し、会員相互の研鑽および農業士会のさらなる活動強化を図ることとしていきます。



設立総会の参加者

員数は、指導農業士12名、青年農業士1名の合わせて13名ですが、4月からは青年農業士として新たに認定された、周防大島町の小柳貴史氏が加わりました。

近年の活動においては、新規就農者の受け入れと定着をテーマとして研修等を行っています。新規就農者は作物栽培や経営、地域活動などの経験が少ないため、ベテラン農業士が中心となって支援してゆくことが重要です。

今後この農業士会が、農業を目指す若い方の育成指導に理解と情熱を持ち、地域農業の振興に寄与していただけるものと期待されます。

平成30年9月14日(金)から11月4日(日)までの52日間、山口きらら博記念公園において、「山口ゆめ花博」(以下、花博)が開催されます。この開催に先立ち、農林水産事務所では3つの方法でPRを実施しました。

まず、集落営農法人等の総会及び栽培講習会等において、パンフレットの配布や、来賓及び主催者あいさつで「花博」の紹介を実施しました。

次に、花育の活動において、11月に柳井市、上関町、田布施町、平生町内の小学校4校で開催した「花の寄せ植え体験」及び、3月に柳井市内の小学校10校で開催した「フラワーアレンジメント

「山口ゆめ花博」のPRを実施しました



藤弘会長(中央左)、大内副会長(中央右)

等の体験」の授業において「花博」のパネルを使用し、会場で繰り広げられるイベントの内容を紹介しました。

最後に、周東総合病院で開催した「柳井の花」PRイベントにおいて、「花博」のパフレット及びPR用花の種を配布するとともに、パネルやDVDの放映により内容を紹介しました。このPRイベントには、「花博」メインキャラクター「やまりん」とサポーターキャラクター「ちよるる」が出演し、イベントを盛り上げ、とても好評でした。

今後とも、農林水産事務所では、PRを行い、県民への周知に努めていきます。



「柳井の花」展示会 in 周東総合病院でのPR活動



花育 (柳井小学校) でのPR活動

**「伊陸西部集落協定」(柳井市)が
多面的機能発揮促進事業中国四国
農政局表彰で最優秀賞を受賞しま
した**

この表彰は、水路や農道等の地域資源の保全管理、生産条件不利地における農業生産活動等の維持など、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動を支援する事業に取り組まれている組織等を対象に、その優良な取組に対し表彰が行われています。

平成29年度表彰において、柳井市伊陸の伊陸西部集落協定(協定面積約43ha)が中山間地域等直接支払の部門で最優秀賞を受賞しました。

受賞理由として、良質米の「伊陸米」の生産に加え、大豆、小麦は、徹底した排水対策により、それぞれ全国共励会で全国表彰を

受けるほどの高い単収、高品質の生産が行われていること、農産物加工所を整備し、地元農産物を使用した味噌、餅などの加工・販売に女性の活躍が図られていること、柳井市と明治大学の交流による大学生のファームステイの受け入れや「キャベツ祭り」等の開催等の都市農村交流による地域の活性化が図られていること等が高く評価されました。

今後の取組として、地域でのイノシシ被害が拡大していることから、恒久的なイノシシ防止柵の設置を進め、農業被害の防止に努めることとしています。



授賞式【中国四国農政局(岡山市)】での集落協定関係者

「日本型直接支払制度」に取り組みましよう

日本型直接支払制度とは、農業・農村の多面的機能の維持・発

揮を図るため、多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払の3つの制度により農業者等が行う活動に対し、国、県、市町が支援を行うものです。

その中で、多面的機能支払、中山間地域等直接支払の取組は、地域が共同して農用地や農業用施設を支えることで、耕作放棄地をみずさずに農地を維持していくための重要な取組となっております。

管内1市4町での平成29年度の実績は、水路や農道等の管理を支える多面的機能支払では35活動組織が84ha、農業生産条件の不利な農用地を維持・管理し農業生産を行う活動を支える中山間地域等直接支払では91協定が714haの対象農地で取り組んでいます。

農村地域の高齢化、人口減少等により地域の共同活動や農業生産活動が困難となる恐れがあります。農業生産活動の継続と水路や農道等の維持管理の負担軽減のために、本交付金を活用してみませんか。

詳しくは市、町または農林水産事務所にお問い合わせください。

元気な子牛を産むためのワクチン接種について

牛飼養農家には、子牛を産ませて家畜市場で販売する繁殖農家と、その子牛を購入して肥育し肉牛として販売する肥育農家、子牛を生産し、肥育する一貫農家があります。畜産経営の安定のためには、子牛が正常に生まれるということが最低条件であり、且つその子牛が元気であることが何より望まれることです。

しかし、母牛が妊娠中に感染すると流産や死産、奇形等を引き起こすウイルスが存在します。これらは吸血昆虫の中に潜み、暖かく



共同活動による水路の管理

なると大陸からジェット気流に乗って日本にやってくる。そこで必要となってくるのが、感染を防ぐための手段、ワクチン接種です。

畜産部では、吸血昆虫活動前の春期に、流産や奇形等の異常産を引き起こすウイルスに効果のある「異常産4種混合ワクチン」の母牛への接種を推進しています。これからも、ワクチン接種の推進や飼養衛生管理指導等を通じて、畜産の振興に貢献していきます。

「東部地域畜産担い手懇談会」を開催しました



ワクチン接種をしましょう！

東部地域の若い担い手と農業大学校生等が参集し、飼養管理技術や経営目標などの情報交換を行い、相互研鑽と連携を図ることを目的に、平成30年2月22日

(木)、岩国市周東町周東勤労青少年ホームにおいて、東部地域畜産担い手懇談会と畜産研修会を開催しました。

畜産の担い手、農業大学校生及び関係者など27名が出席し、肉用牛、乳牛の飼養管理等や就業等について活発な意見交換が行われました。

また、研修会ではPRパートナーシップ広島の吉田光宏先生を講師に招き、「山口型放牧で地域を守るー普及のために広報戦略」と題して講演をしていただきました。東部地域の若手の畜産農家及び農大生などが一堂に会する本懇談会・研修会は、今後の畜産を担う若者のネットワーク構築に大きな役割を果たすことが期待されます。



懇談会

町内ボランティア3団体による竹伐り大会を開催しました

平成30年3月9日(金)周防大島町西三浦瀬戸の飯山登山道沿いの海側斜面に繁茂する竹を「美しい三浦を創る会」、「ふるさと里山救援隊」、「周防大島ふるさとづくりのん太の会」の3団体並びに一般参加者15名で伐採しました。

周防大島町から2台の中型トラックをお借りし、農林水産事務所からは、ヘルメットや竹伐りノコを貸出しました。1日がかりで景観整備を行い、0.3haのマダケを処理しました。当該活動は、3団体が毎年当番



研修会



参加者の皆さん



伐った竹のチップ処理

を交代しながら実施しており、今回伐採しきれなかった場所は、3年後に実施することになります。

「出張！お魚バーベキュー」を開催しました

山口県漁協青壮年部連合会柳井支部（山口県漁協8支店（光、田布施、室津、柳井、平郡、浮島、安下庄、東和町）、大島漁協の9漁協青壮年部で構成）では、地魚の消費拡大や魚食普及を図るため、2月17日（土）に「出張！おさかなバーベキュー」を開催しました。

これは、幼稚園・保育園に向いて、漁業者自らが獲った地元産の魚介類を料理してふるまうイベントで、今回、光市のまつばら保育園で開催し、園児45名、保護者・園職員58名の参加がありました。

内容は、タッチングプールと魚料理の提供です。タッチングプールでは、40種類以上の海の生き物をじかに触る体験ができ、園児たちはもちろん、保護者の方も一緒に大はしゃぎでした。料理メニューは、サヨリ（室津産）のフライ、コウイカ（浮島産）の煮つけ、アカエビ（大島産）のかき揚げ、エソ（光・田布施産）のつみれ汁、サザエ（室津産）の炊き込みご飯で、参加者が何度もお代わりをする光景もみられました。

た。同支部では、漁業への理解、水産物の地産地消を目的に今後も同イベントを実施していく考えです。



タッチングプールの様子



参加者の皆さん

表彰・認定おめでとうございます!!

平成29年11月14日（火）、山口県庁正庁会議室において、平成29年度山口県農林水産業関係表彰・認定式が開催され、柳井農林水産事務所管内においては、次の方々が、表彰または認定を受けられました。 ※敬称略

〈表彰〉

- ・山口県農山村振興賞（個人）
 - ・山口県農村中堅青年表彰
 - ・山口県漁村優良団体・青壮年女性表彰（個人）
- ”
- 中元 輝子（柳井市）
 - 角井 雅之（周防大島町）
 - 畠山 英己（上関町）
 - 森本 サク子（平生町）

〈認定〉

- ・山口県指導漁業士 山根 浩己・新村 光之 (周防大島町)
- ・山口県青年農業士 小柳 貴史 (周防大島町)
- ・山口県青年漁業士 網本 将隆 (周防大島町)
- ・山口県農家生活改善士 村本 佳枝 (柳井市) 再任



今後とも、農林水産業・農山漁村の発展に向け、益々のご活躍を期待しています！！

狩猟免許試験について

近年、イノシシやサル等の野生鳥獣による農林業等への被害が深刻化している一方で、狩猟者の減少等により有害鳥獣捕獲の担い手が減少していることから、新たな狩猟者の確保・育成が必要となっております。

狩猟を行うには、法律に基づく狩猟免許の取得等が必要となり、県では6月から8月にかけて6回の免許試験を実施する予定です。

また、新たな捕獲の担い手を確保・育成し、農林業被害を軽減・防止するため、免許の取得経費の一部を助成しています。(助成の条件有)

狩猟免許更新について

既に狩猟免許を所持されており、その免許の有効期限が平成30年9月14日の方は、狩猟者講習及び適性検査を受けることで、免許を更新することができま

す。当事務所管内では7月に5つの会場で行う予定です。

※狩猟免許試験及び狩猟免許更新の日程等については、岩国農林水産事務所森林部※森林部は柳井と兼務(☎0827-2911567)にご連絡ください。また、山口県(自然保護課)のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

「やまぐち木の家」

優良県産木材利用住宅助成について

山口県では、品質の優れた優良県産木材等を利用し、耐震性などの一定の基準を満たす住宅を新築される方に、建築費用の一部を助成します。

助成金額 一戸当り25万円

助成要件 優良県産木材を利用した住宅

の新築

○県内に自ら居住するための一戸建て住宅

○延べ床面積が80㎡以上

○構造材に占める優良県産木材の割合が60%以上で次のいずれかに該当

・県産板材の使用量が100㎡以上

・下地材等を加えた県産木材の使用割合が70%以上

○住宅性能表示で次の基準を満たすもの

・耐震性：耐震等級2又は免震建築物

・耐久性：劣化対策等級3

・省エネ性：断熱等性能等級4

※ 助成金を希望される方は建築工事着手前に手続きが必要となりますので、お問い合わせください。

問い合わせ窓口

山口県ぶちうまやまぐち推進課

住所 山口市滝町一―

☎083-9333-3395